

芦城中学校女子ハンドボール部 小松市スポーツ栄光賞受賞



芦城中学校女子ハンドボール部は、春の全国中学生選手権、夏の全国中学校体育大会、冬のJOCジュニアオリンピックカップで優勝し、県内初の三冠という偉業を成し遂げました。

※スポーツ栄光賞は、教育・体育・学術技芸、その他文化の振興に貢献し、その功績が特に顕著な個人または団体に対し表彰するもので、今回2年ぶり、6組目の受賞となりました。

キラリ★市民サポーター

広がるおもてなしの輪

市内に訪れる多くの選手たちをサポートし、おもてなしの心で迎える市民サポーターの皆さんが活躍しています。キラリと輝く活動を紹介します。

カウントダウンボードで機運醸成

選手の皆さんをサポートする際は「目配り・気配り・思いやり」を常に心掛けています。また木場町では、スポーツ協会を中心に各種団体の皆さんと協力し合い、



木場町交差点のカウントダウンボードの日付を交代で交換しています。これからは町民一丸となって応援し、機運を高めていきたいです。



市民サポーター
山本 甚栄さん(木場町)

通訳ボランティアで選手をサポート

20代の頃、アメリカとカナダで生活した経験を生かし、海外の選手と小学生との交流会などの際に通訳ボランティアをしています。世界で活躍するトップアスリートと交流し、彼らの価値観や経験を直接聞けることは、大きな刺激であり貴重な機会になっています。



市民サポーター
寺尾 豊さん(白江町)



東京2020オリンピック・パラリンピック出場内定選手激励会 令和元年度小松市スポーツ栄光賞授賞式

松下桃太郎選手とカヌーのジュニア選手の皆さん

令和2年1月4日



東京オリンピック・パラリンピックを未来へつなごう

輝け！夢の舞台はすぐそこに

vol.9

●オリンピック開催期間 7月24日(金)～8月9日(日) ●パラリンピック開催期間 8月25日(火)～9月6日(日)

東京オリンピック開催まで半年を切りました。出場内定選手や聖火ランナーの決定、事前合宿のため各国の選手たちが小松市にも訪れるなど、盛り上がりを見せています。今回は、見事オリンピック・パラリンピックの出場権を獲得した小松市ゆかりの選手やサポートする市民の皆さん、そして聖火リレーについて紹介します。

特集に関する問い合わせ スポーツ育成課 ☎24・8139

出場内定選手が続々決定

現在も様々な種目において出場権をかけた熱い戦いが繰り広げられています。小松市ゆかりの選手では、カヌーの松下桃太郎選手、木場潟を練習拠点とするパラカヌーの瀬立モニカ選手に続き、男子50キロ競歩で小松高校OBの鈴木雄介選手が東京オリンピック・パラリンピック代表に内定しました。

世界の舞台に挑む選手たちを応援しよう

市内では、木場潟カヌー競技場を拠点に日本を含む世界9カ国のカヌー・スプリント・パラカヌーチームの事前合宿も行われています。今後オリンピック・パラリンピックをはじめ、世界選手権で活躍している多くのメダリストが木場潟に集結します。選手皆さんが最高の舞台で、最高の結果を出せるよう、みんなで応援しましょう。

北陸初 共生社会ホストタウン認定

小松市は、パラリンピアンとの交流やユニバーサルデザインのまちづくり、心のバリアフリーなどに取り組み自治体として、北陸で初めて国の「共生社会ホストタウン」の認定を受けました。

東京オリンピック・パラリンピックの成功おもてなしがより広がるまちを目指して、これからも市民の皆さんと一緒に共生社会を創り上げていきます。

★ 出場が期待される注目選手 ★

ボッチャ 田中 恵子 選手 小松市出身 上荒屋町出身。2019アジア・オセアニア地区選手権B3ペア銀メダル。これまでの成績を踏まえ、4月に代表が決定。出場が決まれば市内初のパラリンピック出場選手に。 	トランポリン 岸 大貴 選手 小松市出身 幸町出身。2019ワールドカップアゼルバイジャン・バクー大会男子個人銅メダル。4月のワールドカップ終了後の世界ランキングの結果を踏まえ、代表が決定。 
ハンドボール 石立 真悠子 選手 小松市ゆかり 福井市出身。小松市立高校卒業。2014年からはハンドボール世界最高峰のハンガリーリーグで活躍。現在は三重バイオレッツトアイリスに所属している。 	ボート 宮浦 真之 選手 小松市出身 白江町出身。2018アジア大会男子軽量ダブルスカルで金メダル。4月のアジア・オセアニア大陸予選で3位以内、または5月の世界最終予選で2位以内で出場可能。 

CHECK

オリンピックとトップアスリートを育てたお母さんに学ぶ！

参加無料

2/10日
申込締切

小松市ジュニアスポーツセミナー

とき 2月15日(土)9時～12時 ところ こまつドーム

■小学生向け(対象：市内小学生 定員：300人)

「走る・跳ぶ・投げる」のコツを学んで、レベルアップ
 運動神経が発達するジュニア期にマスターしたい動きを学ぼう。

■保護者・指導者向け(定員：100人)

① トップアスリートに学ぶ『ジュニア期にやるべきこと』

時間 9時30分～10時20分

講師 金沢星稜大学教授 大森重宜さん

② 小松市のトップアスリートのお母さんに学ぶ

『スポーツ好きを育てるために』

時間 10時30分～11時30分

ゲスト 豊田千寿子さん(サッカー・豊田陽平選手)、中川千鶴子さん(飛び込み・中川真依さん)
 松下明美さん(カヌー・松下桃太郎選手)、岸直美さん(トランポリン・岸彩乃選手)



問い合わせ 小松市スポーツ協会 ☎23・5961

小松市出身・ゆかりの選手を応援しよう

現在、小松市出身の選手1人とゆかりの選手2人が東京オリンピック・パラリンピックの出場権を獲得しています。これから出場権の獲得をかけて戦う注目選手と併せて紹介します。

出場内定

陸上競技
50km競歩

鈴木 雄介 選手

小松市ゆかり

能美市出身。白楊幼稚園卒園、小松高校卒業。世界陸上競歩選手権大会で優勝。50キロ競歩でオリンピック代表に内定。



東京オリンピックに向けた意気込み

世界選手権では、小松市民をはじめ県民の皆さんからの声援のおかげで粘り切ることができました。どんな状況でも勝てるようトレーニングを続け、一日一日を大切に更なる努力を重ね、五輪のレースに臨みたいです。

出場内定

パラカヌー-KL1

瀬立 モニカ 選手

小松市ゆかり

東京都江東区出身。木場潟カヌー競技場を拠点に練習に励み、リオパラリンピックに続いて2大会連続の出場権を獲得。



東京パラリンピックに向けた意気込み

夏合宿では木場潟でお世話になり、その成果が出て2020東京パラリンピックへの出場内定をいただきました。パラリンピック直前に、また木場潟で合宿を行います。金メダル獲得に向けて精進して参りますので応援よろしくお願いします。

出場内定

カヌー(スプリント)
カヤックフォア500m

松下 桃太郎 選手

小松市出身

8年越しのリベンジ
司令塔としてチームを牽引



カヌー(スプリント)カヤックフォア500mで、金平町出身の松下桃太郎選手ら4人で組む日本チームが東京オリンピックの代表に内定しました。松下選手は2012年ロンドン大会以来2度目の出場となります。カヌーは、体重制限のない無差別級の戦いで、日本の武器はチームワークと戦術です。松下選手は、スパートをかけるタイミングやペース配分を指示する重要な役割を担います。

東京オリンピックに向けた意気込み

悔しい思いをしたロンドン大会のように出場するだけでなく、世界選手権で見つけた課題を克服し、上位に食い込めるようにしっかり練習を重ねていきたいです。

▶五輪出場を獲得した(左から)藤嶋大規選手、宮田悠佑選手、松下桃太郎選手、水本圭治選手の日本チーム



カヌーカヤックフォア 市内にてパブリックビューイング開催予定！
 8月7日(金)予選
 8月8日(土)準決勝・決勝

CHECK

※詳細は決まり次第お知らせします。



石川県実行
委員会枠

聖火ランナー

大好きなハンドボールをより多くの人に知ってほしい、ハンドボールをもっと盛り上げたいという想いで、聖火ランナーに応募しました。選ばれたと連絡を受けたときは、驚きで食事ものどを通らないくらいでした。

聖火リレー当日は、たくさんの方がつないできた希望の火に自分の想いも乗せ、次につなげるよう頑張っ走りします。

小松ジュニアハンド
ボールクラブ6年生

佐竹 弘晃さん



聖火ランナーは1人約200mの区間を走り、小松市では8人が選ばれ、トーチをつなぎます。今回は、石川県実行委員会の公募ランナーとして選ばれた2人から意気込みなどを伺いました。

ふるさとである小松市のランナーに選ばれ、本当にうれしいです。一生に一度あるかないかのとても貴重な経験をさせていただけることに、喜びと感動で胸がいっぱいです。

世界平和を象徴する聖火の火を、みんなの想いと共にしっかりとつなげていきます！

飛び込み競技で2008年
北京、2012年ロンドン五輪出場

中川 真依さん



「記念モニュメント」制作に参加しよう

東京オリンピック・パラリンピック開催と市制80周年を記念し、小松運動公園前に記念モニュメントを設置します。モニュメントは2020年にちなみ、2020人が色付けした九谷焼のタイルで作り上げます。皆さんもモニュメント制作にご協力・ご支援をお願いします。

協力金 一口5千円から

協力特典 一口当たり2人まで九谷焼タイル制作に参加可能。
また、モニュメントに設置する銘板に氏名(団体名)が記載されます。

応募期限 2月29日(土)

そのほか 詳しくは市ホームページまで。



みんなが参加し、みんなが輝ける
オリンピック・パラリンピックに
しましょう！



記念モニュメント設置イメージ



記念モニュメントを制作する小松九谷工業協同組合の皆さん

1940-2020
小松市制
80
周年

6月1日(月) 希望の道をつなぐ聖火が 小松市にやってくる！

東京2020オリンピック聖火リレーは「Hope Lights Our Way 希望の道を、つなごう」をコンセプトに、121日間をかけて全国47都道府県を回り、7月24日(金・祝)オリンピック開会式にて聖火台に点火されます。石川県へは6月1日(月)に聖火が到着し、2日間で県内全19市町をつなぎ、小松市では6月1日(月)に聖火リレーが実施されます。

ランナーだけでなく、沿道で声援を送る人やスタッフなど誰もが主役となってオリンピックに参加できる聖火リレーをみんなで盛り上げましょう。

小松市聖火リレー

日時 6月1日(月)9時頃(予定)

コース スタート地点：JR小松駅西口→
ゴール地点：末広陸上競技場(約1.8km)

ランナー 8人(200m/人)…石川県実行委員会枠2人、スポンサー企業枠6人



START JR小松駅西口



JR小松駅では、2023年春の北陸新幹線小松開業に向け、駅舎工事や高架下の整備が進んでいます。



ゴール地点では、吹奏楽演奏や園児による五輪音頭などで、聖火リレーを盛り上げます。



GOAL 勸進帳スタジアム
(末広陸上競技場)

まちなかは五輪装飾で華やかに

JR小松駅周辺や総合体育館、空港などに設置する応援フラッグや五輪をテーマとした花壇などで、オリンピック・パラリンピックの機運を盛り上げます。



▲カヌーと五輪をテーマにした花壇(木場潟カヌー競技場)



▲小松空港
(イメージ)



◀JR小松駅
(イメージ)